

『風と光と』は、富士・東部地域教育の様々な活動、情報等を掲載し、

## 地域教育の「横の連携」と「縦の接続」

を目指す富士・東部教育事務所が発行する情報紙です。1年に8回程度の発行を予定しています。

富士・東部教育事務所地域教育支援スタッフでは、

(1) 家庭、学校、地域の連携による地域ぐるみの教育活動の活性化を図る。

(2) 地域における体験活動・ボランティア活動の環境を整備し、地域教育力の活性化を図る。

を目標に掲げ、地域の教育力を高めるためのコーディネーターとして、家庭・学校・地域社会がお互いに連携を深め、青少年の健全育成のため活動しております。

## 子どもたちの教育は地域全体で担う!!

### 南都留地域教育推進連絡協議会 理事会・総会・講演会開催

南都留地域教育推進連絡協議会では、6月18日(水)、平成26年度の理事会・総会・講演会を鳴沢村「フジエポックホール」において開催しました。理事会後に開かれた総会では120名が出席。昨年度の事業報告・会計報告・監査報告の後、本年度の役員について小笠原幸夫都留第二中学校校長を会長とする新役員が承認されました。また、本年度の事業計画・予算については参加者から、「『小1プロブレ』の予防的対応が、幼稚園・保育園と小学校の連携活動によって進められている。子どもたちの将来のために連携活動の重要性を感じている。」「『教育フォーラム』は地域貢献活動の貴重な学習の機会となっている。他の団体との連携を今後も推進し、地域への貢献活動を進めていきたい。」など、多くの意見が活発に出されました。



の団体との連携を今後も推進し、地域への貢献活動を進めていきたい。」など、多くの意見が活発に出されました。

講演会では、富士吉田市出身、富士河口湖町在住の画家・アニメ作家 前田康成氏を講師に、『ふるさとの宝』と題してご講演いただきました。前田先生は『まんが日本昔ばなし』の演出・作画者とともに、富士河口湖町勝山の民話や富士山・木花咲耶姫(コノハナサクヤヒメ)を題材にするなど、地元に着目した作品を多く手がけています。ビデオ映像や先生の作品をスクリーンに映しながら「ふるさとを代表する『富士山』を、子どもの時は何とも思わなかったが、今は身近な存在。富士山は自分にとって空であり大地である。『宝』とはいつも足元にあるもので、それはこの地域の自然であり、そこに住んでいる人たち。」と、この地域の素晴らしさを語られました。参加者からは「ふるさとを愛する心、豊かな感性、衰えることのない創作意欲が伝わってきた」「『好きなことは苦にならない』・・・心に残る言葉でした」など多くの感想が聞かれました。

# 台風 8 号接近のため、急ぎょ中止に!!

## 地域教育「明日の風」

### 北都留地域教育推進連絡協議会 定期総会・教育講演会

北都留地域教育推進連絡協議会(石井由己雄会長)では、定期総会・教育講演会を7月11日(金)に開催の予定でしたが、7月に日本に近づくものとしては、これまででも最大級の強さとなった「台風8号」の接近のため、危険防止・危機管理の観点からやむを得ず中止とさせていただきます。関係各位には、多大なるご心配、ご迷惑をおかけしました。

中止決定後には、「教育講演会やアトラクションを楽しみにしていた。今回は残念だが、いずれ改めて講演会やアトラクションだけでも開催してほしい。楽しみにしている。」とのお電話もいただきました。

今回、総会で審議予定でした議題等につきましては、本協議会会則により、過日6月25日(水)に開催しました第1回理事会の承認をもって総会の議決に代えさせていただきます。

今年度の事業につきましては、理事会で承認いただきました計画案に従って進めさせていただきます。

#### 【今後の主な主催行事】

- 「アスリート実技講習会」 10月4日(土), 10月11日(土), 11月15日(土)  
2月21日(土), 3月7日(土)
- 「伊藤知治教士八段剣道教室」 10月5日(日)
- 「三遊亭小遊三師匠とふれあう会」 11月16日(日)
- 「小林雅英コーチ野球教室」 12月13日(土)



## 子育て支援リーダー・ステップアップ講座

地域での子育てや家庭教育支援の活動を

積極的に推進できる人材の養成!!

子育て支援リーダー・ステップアップ講座が6月13日(金)と、6月27日(金)の両日に山梨県立大学で開催されました。子育て支援関係者、保育士、民生委員、児童委員等、32名が参加。

第1回目は、「子育て支援の現在と私たちの課題」というテーマのもと、子育て支援をしていく上での課題を、講座やグループワークを通して考え、解決方法を探究。それぞれの立場からの意見

交換が活発に行われ、グループごとに課題の絞り込みを行いました。

第2回目は、「家庭教育支援の技術をみがく」というテーマで、心身の発育発達を促す遊びを、実際に身体を動かして体感し理論と技術を学習しました。参加者は童心に返って自ら楽しみながら、具体的な実践例を身につけることが出来たようでした。



**楽しいがいちばん!!**

## ホップに114名が参加

6月21日(土)、大月市民総合体育館において『ホップ』(主催:大月市スポーツ少年団・大月アスリートクラブ・明日の風アスリートクラブ)が開催されました。小学生から大人まで、合計114名が参加。種目は、トランポリン・スポーツ吹き矢・お手玉・卓球教室・キックターゲット・ストライクアウト・バスケットシュート・陸上5種競技・スーパーエアロピクス教室と多種多様。



ウォーミングアップエアロピクスの後、参加者は思い思いの種目にチャレンジ。親子や友達同士で競い合い、さわやかな汗を流しながら楽しい一日を過ごしました。

次回『第3回アスリート実技講習会』は10月4日(土)です。多くの方のご参加をお待ちしています!!



## 「先生になろう!」桂高校で都留文大生が研究授業

6月27日(金)、県立桂高等学校(菊池敏彦校長)では、連携協定を結んでいる都留文科大学(福田誠治学長)の学生による研究授業が実施されました。両校の交流活動は2012年度にスタートし、今回で5回目となります。

当日は、同大学文学部英文学科・松土清研究室の学生約30名が3つのグループに分かれて、リレー形式の「マイクロ・ティーチング」による英語の授業が次々に展開されました。今回の研究授業は、学生にとっては教育実習の前に教壇に立つまたとないチャンス。また、授業に参加した高校生(2学年)もいつもと違う授業に興味津々。学生も高校生も少々緊張気味でしたが、とても和やかな雰囲気の中で行われました。



将来、教員を目指して頑張っている学生を目の当たりに、高校生は将来の進路に対する意欲が高まってきたようです。また、授業を行った学生の一人は、「『教えることの難しさ、素晴らしさ』を肌で感じる事ができた」と感想を述べていました。

今後、この交流は桂高校から都留興譲館高校(上小澤仁志校長)に引き継がれます。次回は12月に都留興譲館高校での実施が予定されています。

地域の皆様のご支援ご協力を得ながら、実りある実践となるよう努めて参ります。各事業についてご意見ご要望がありましたら、地域教育支援スタッフまでご連絡ください。

連絡先 富士・東部教育事務所 地域教育支援スタッフ 0554-45-7841

## 「一人一人に合った支援のために!!」 南都留特別支援教育研究会開催

南都留特別支援教育研究会(会長：吉田西小学校高村始校長)では、7月3日(木)に第2回研究会を開催。「青い麦の子大会」等について審議するとともに、学習会では「障がい者就業・生活支援センターありす」の三浦誠センター長、「県相談支援体制整備事業富士東部圏域マネージャー」の渡辺典子さんを講師にお招きし、『自立に向けた支援のあり方』についてグループワークを行いました。

まず、ライフステージごとに社会資源の視点から、障がい者に対する支援をどのように行うべきかを各グループごとに議論し、その後、各グループごとにまとめた内容を模造紙等を利用して代表者がそれぞれ発表しました。最後に講師から「一貫した支援ができるような『支援マップ』等による情報の共有と連携、将来を見据えた支援が必要である。『自立』とは、『教育・福祉・地域で本人がしたい暮らしをチームで支援する』ことである」との説明がありました。

11月27日(木)には、ふじざくら支援学校の先生を講師に第2回学習会が予定されています。



## オープンスクール・オープンキャンパス・授業公開特集

**【ふじざくら支援学校】** 県立ふじざくら支援学校(元木哲哉校長)の「オープンスクール・教育相談会」は6月21日(土)に実施されました。本年度は109名の方が参加。ふじざくら支援学校の校内を見学し、普段の教育活動を直に触れることができました。

当日は、「校内見学ツアー」「授業見学」「教育相談会」が行われましたが、特別支援教育に関する専門書やふじざくら支援学校で使用している教科用図書、教材、自助食器等の展示、高等部の校内実習、現場実習の様子を紹介するビデオ上映も行われました。「教育相談会」では、特別支援教育に関する様々な相談に教職員が応じていました。同校では、特別支援教育に関する相談は、随時受け付けています。お気軽にご連絡ください。



**【やまびこ支援学校】** 県立やまびこ支援学校(内田大介校長)の「オープンスクール」は7月1日(火)に実施されました。地域の皆様にやまびこ支援学校の特色や授業の様子を広く知っていただくことを目的として、毎年1回オープンスクールを開催しています。

当日は、地域の保育園、小学校、中学校、高等学校、市役所、福祉施設などから51名が参加。全体説明の後、3グループに分かれ、小学部では、国語・算数、図工、体育(プール)、自立活動、中学部では、国語・数学、美術、自立活動の授業、高等部では国語・数学、作業学習の授業を参観しました。

参加者からは「子ども達が楽しそうに授業に取り組んでいる様子を見ることができた」「先生方の教材の工夫や安全面への配慮に感心した」「子どもの実態に沿って一人一人に合った教育をされていることがよくわかった」等の声が寄せられました。



**【ひばりが丘高等学校】** 県立ひばりが丘高等学校(安藤昇校長)の「授業公開」は7月15日(火)に実施されました。今回は昼間部・夜間部ともに、「創作授業」の公開でした。

「創作授業」とは、「他者との協調性と積極性の育成」「豊かな感性を持った人間の育成」「地域に根ざした人間の育成」を目的に行われています。地域の外部講師の指導により、「切り絵」「絵画」「絵手紙」「本作り」「刻字」「陶芸」「和楽器演奏」「木工」の各講座を開講。

生徒の皆さんは、教員や講師の指導のもと、とても熱心に作業に取り組み、どの作品も個性的で感性豊かな作品に仕上がっていました。今後の授業公開は、9月11日(木)、1月20日(火)に予定されています。

